

## 行政報告の主な内容（8課21項目）

(1) 総務課	・ 十勝岳噴火総合防災訓練
	・ 地域情報化調査
(2) 行政改革推進事務局	・ 市町村合併
	・ 広域行政
	・ 行財政改革実施計画推進状況
(3) 企画財政課	・ 自衛隊関係要望行動
(4) 税務課	・ 税の徴収関係
	・ 行政サービス制限条例制定の取組み
	・ 確定申告の受付け
(5) 産業振興課	・ 品目横断的経営安定対策
	・ 雪まつり
	・ 大雪山国立公園フォーラム
(6) 保健福祉課	・ 保健福祉総合センター「かみん」整備完了
	・ 軽費老人ホームの民間移譲
	・ 東中へき地保育所の閉鎖
	・ 国保ヘルスアップ事業
(7) 建設水道課	・ 除排雪の状況
(8) 教育振興課	・ 成人式
	・ 地域子ども教室
	・ 上富良野高校間口維持に関する要望行動
(9) 総務課	・ 建設工事発注状況

# 行政報告

(平成18年3月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第1回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る12月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

## (総務課行政報告)

はじめに、十勝岳噴火総合防災訓練についてであります。2月21～22日の2日間の日程で、北海道、旭川地方气象台、陸上自衛隊、北海道警察、上川南部消防事務組合など12関係機関が参加して実施いたしました。

1日目は情報の収集と伝達訓練を主体に、2日目は避難、救助・救出、避難路確保、道路閉鎖などの各種実働訓練を展開いたしました。

避難訓練では、緊急危険区域の住民を対象に、8箇所の避難所を開設して、泥流を伴う十勝岳噴火が起きたという想定で、210世帯、287人が参加したところであります。

また、西小学校避難所においては、自衛隊・警察・消防による救助・救出訓練のほか、消防職員が講師となった応急手当講習と火山防災パネル展示も行ないました。

なお、昨年までは北海道が上川支庁内に設置していた災害対策現地合同本部は、見直しによって、災害現地により近い美瑛町に置かれて訓練が行われたところであります。

次に、昨年10月の国勢調査に合わせて実施した「地域情報化調査」についてですが、医療施設、社会福祉施設入居者など一部を除く、小学生以上の全町民を対象に、携帯電話やパソコンの所有状況と、インターネット利用状況を把握し、今後の「地域情報化計画」策定に向けた基礎資料とす

るため、調査を行いました。調査には 95 パーセントの皆様にご回答いただき、携帯電話、パソコンの世帯普及率は、それぞれ 75 パーセント、51 パーセントとの結果を得ました。詳しくは、町広報 3 月 10 日号に掲載するとともに、情報提供コーナー等に掲示いたしますので、ご覧いただきたいと存じます。

今後の町の取組み予定といたしましては、この調査結果をもとに、「地域情報化計画」を策定し、民間活力を活用しながら町内の情報インフラ整備を推進してまいります。

### （行政改革推進事務局行政報告）

次に、市町村合併につきましては、1 月 24 日に市町村合併に関する上川支庁管内説明会が開催され、総務省と北海道から説明がありました。

総務省からは、都道府県が作成する合併推進構想にともなう、市町村の組み合わせの考え方として、地理的条件等を考慮し、概ね人口 1 万人未満を構想対象にしたこと、などの説明がありました。

北海道からは、住民が適切な行政サービスの提供を受けることができる人口規模を概ね 3 万人程度とし、合併に向けた自主的な取組などに配慮することが示されたところであります。

また、2 月 14 日に第 4 回北海道合併推進審議会が開催され、クラスター分析による市町村の結びつきが強い度合いなどを示す、樹形図が公表され、富良野沿線では、富良野市と南富良野町が最も関係が深く、次いで上富良野町と中富良野町が、その次に富良野市と南富良野町と占冠村が、そして富良野沿線 5 市町村の順に結びつきが深いとされております。

また、今年夏頃には、道の市町村合併推進構想が示される予定と聞いております。

次に、広域行政についてであります。12月27日と2月21日の2回、広域圏振興協議会委員会へ「自治のかたち検討プロジェクト」から、広域で担うことが望ましい事務事業の状況と最終報告に向けての状況報告を受けております。

広域で担うことが望ましい事務事業については、今年4月から上川支庁の窓口縮小に伴う消費者相談業務を富良野市消費生活センターが広域の窓口として一括して相談する体制となり、日常法律相談業務も富良野市に広域の窓口体制へ移行し、図書貸出し業務の連携や職員研修の連携も図って行くことになっているほか、障害者自立支援法による認定審査会の広域設置についても平成18年度中に広域設置できそうな状況にあるとの報告を受けております。

また、プロジェクトの最終報告に向けては、最終報告書の概要や最終報告後の各市町村住民説明の実施、その後再度市町村長が状況報告することなどが確認されました。

次に、行財政改革実施計画の推進状況についてであります。平成17年度の効果実績額については、今年6月頃になりますが、平成16年度の実績額1億8,370万円と併せて2年間で約5億9,000万円の効果と見込んでおります。

平成10年度から8年間にわたる行財政改革の取り組みでは、約13億2,000万円の効果となり、行政の内部改革で約10億円、住民の協力や負担を伴う改革で約3億円、このうち人件費は全体の約45%を占める約5億9,000万円の効果となっております。

#### (企画財政課行政報告)

次に、自衛隊関係であります。1月12日、北海道自衛隊連絡協議会

で組織されている「第2師団管内の駐屯地所在市長及び町長」として、第2師団長に対し、駐屯地部隊の削減反対に係る要望運動を行いました。

また、防衛施設周辺整備事業関係では、2月13日から15日までの間、上富良野町基地協議会の関係団体長同行のもと、防衛施設庁の関係課長等に、事業採択の要望を行うとともに、防衛庁防衛部長、防衛課長等に上富良野駐屯地削減反対に係る要望を行ってまいりました。

### （税務課）

次に、税の徴収関係であります。12月から2月にかけて預金調査230件、給料支払調査1件の財産調査を実施して、10件の差押えを執行いたしました。

また、管理職及び税務課職員全員による滞納プロジェクトによる、きめ細かな臨戸訪問徴収を実施するとともに、夜間・休日納税相談窓口を設置して収納サービスの向上に努めるなど、収納対策を講じ、1月末現在の滞納繰越分の収納率は、町税で29.4%、国保税で26.3%となり、いずれも昨年同期を上回る状況にあります。

次に、「町税等の滞納者に対する行政サービスの制限措置等に関する条例」の制定に関しては、12月26日から1月25日までパブリックコメントを実施し、3名からいただいた5件のご意見をはじめ、様々な機会を通じて、多数のご意見をお聞きいたしましたので、出来る限り意見反映しながら、条例制定に向け検討を進めてまいります。

次に、平成17年度所得税確定申告の受付については、2月16日から3月15日の期間で受付事務を実施しておりますが、今年初めての申告となる課税売上1千万円を超える事業主の消費税の申告についても、町民の皆様が混乱を来たさないよう、所得税の申告と同様に、相談・受付の対応を

図っているところであります。

### （産業振興課行政報告）

次に、農業関係では、平成 19 年産から国が導入する品目横断的経営安定対策について、北海道・農協等の関係機関と共に 12 月 6 日農業者向けの説明会を開催しました。

この制度は、認定農業者等を対象としており、農業者全員が制度を熟知する必要があることから、説明会以降も、農協と共に農事組合ごとの地域説明会を開き、さらに個別相談会を全町的に実施してまいりました。

町の認定農業者は現在 288 名で全農業者の約 7 割となっており、今後も認定に向け積極的に推進してまいります。

次に、第 42 回かみふらの雪まつりについてですが、日の出公園を会場に 2 月 5 日に開催し、好天に恵まれ延べ 2 千人のご来場をいただきました。

会場には上富良野駐屯地第 2 戦車連隊制作による大雪像 1 基、商工会青年部制作による滑り台が設けられ、もちまき大会や、上富良野産豚肉の川柳・標語コンテストなど様々なイベントに、多くの町民の皆様にご参加いただきました。

雪まつり当日はもとより、雪像制作期間中から、ご支援をいただきました陸上自衛隊をはじめ、各関係機関等の皆様に厚く感謝を申し上げます。

次に、環境省・北海道・大雪山国立公園連絡協議会の共催による、第 9 回大雪山国立公園フォーラムが、本町の『かみん』を会場に、2 月 18 日開催されました。北海道大学で大雪山・十勝岳を中心に『地衣類の分類と生態』について研究をされている志水顕氏と、北海道教育大学旭川校で『大雪山・十勝岳火山地域の火砕流・マグマ』の研究をされている和田恵治氏から、ご講演いただき、講演終了後には活発な意見交換が行われるなど意



義のあるフォーラムでありました。

### （保健福祉課行政報告）

次に、保健福祉総合センターについてであります。開設以来、保健福祉活動はもとより、研修会など各種の活動に、多くの町民の皆様にご利用をいただいております。また外構関係の整備についても、総額 66,161 千円を投入し、前庭舗装、駐車帯、車庫等の整備を終え、保健福祉総合センターとしての全ての整備を完了いたしましたので、今後は、保健福祉の拠点として、その機能発揮に努力を注いでまいります。

次に軽費老人ホーム「ケアハウスかみふらの」の民営化につきましては、平成 17 年第 4 回定例町議会において、財産譲与及び設置条例の廃止について、ご議決をいただきましたので、平成 18 年 4 月 1 日社会福祉法人わかば会が、適正運営できるよう諸手続きを進めて参ります。

次に、東中へき地保育所についてであります。へき地保育所として昭和 33 年の開設以来、地域保育の拠点として運営を続けてまいりました。

近年の少子高齢化などから、通所児童が極端に減少する事態の中で、地域の関係者との協議を重ねた結果、平成 18 年 3 月末日をもって閉所することになりました。なお、今後は、地域活動の利用に供することで合意いたしております。

次に、生活習慣病の予防対策として実施している、国保ヘルスアップ事業については、予定していた 80 名が参加し、動脈硬化予防健診受診・水中運動教室参加・食事相談・個別運動プログラム作成・自己実践コース等ひとりひとりが選択した方法で、改善に取り組んでおります。国保の医療費分析でも医療費総額のうち生活習慣病が 76% を占めていることから、町民の健康に対する意識の高揚と介護予防・医療費削減の基礎的活動とし

て、今後も最大限に取り組みを推進してまいります。

#### （建設水道課行政報告）

次に、今冬の除排雪の状況についてですが、全国各地から大雪による被害が伝えられる中、幸いにも富良野周辺地域においては、現時点で例年より少なめの降雪にあり、道路網の確保も順調な状況にあります。

このような中で、広い地域単位による自発的な排雪作業の申し出があった、銀座通り振興会に対し、町は重機による積込み作業を協力することで、地域との連携行動により、一定の効果をあげることができました。今後も、同様のケースについては、住民との協働に努めてまいります。

#### （教育振興課行政報告）

次に、成人式についてであります。本町では、新成人の皆様が出席しやすいよう、1月8日に保健福祉総合センター「かみん」において、町議会議員をはじめ来賓各位のご臨席をいただき挙行いたしました。

新成人130名の出席のもと厳粛なうちに式典が行われ、門出を祝福したところであります。

次に、上富良野町地域子ども教室についてであります。放課後の子供達に安全で安心な遊び場を提供するため、平成16年度から実行委員会が主体となり、「子どもの居場所づくり」として実施しております。

本年度は、町内小学校児童数696名のうち約29%にあたる203名の児童が登録し、平均して約30名の子供達が「放課後スク－ル事業」に参加し、2月末をもって、盛況のうちに終了することができました。

今後におきましても、地域の協力を得て、子どもや保護者のニーズに沿って事故のない運営に努めてまいります。



次に、道立上富良野高等学校についてであります。公立高等学校適正配置計画により、二間口校は原則統廃合の検討がなされていることに加え、地元中学校の生徒数の減少から、上富良野高等学校の置かれている立場は、非常に厳しい状況にありますので、12月10日発行の町広報紙を活用して、広く町民の皆様にも周知を図ってきたところであります。

また、2月9日には、現状をなんとしても維持継続していただくよう、中富良野町と連携をとり、北海道教育委員会に対して、要望運動を行ってまいりました。これからも、積極的な支援と存続運動を進めてまいります。

#### (総務課行政報告)

最後に建設工事の発注状況であります。12月定例議会で報告以降に入札執行した建設工事は、2月24日現在で、本定例議会に契約議案を上程しております2件を含め、9件、事業費総額で4億8,520万5,000円となっております。

なお、本年度累計では、51件、事業費総額8億9,959万8,000円となっており、詳細については、お手元に配付しております「平成17年度建設工事総括表」で、ご確認いただきたく存じますが、本日以降、本年度中に発注を予定している工事が、更に2件ありますことを付け加えさせていただきます。

以上をもちまして、行政報告といたします。